

# 在宅訪問診療について



## 1. 訪問診療（在宅医療）とは

- ご自身で通院するのが困難な方
- 介護が必要な方
- 退院後のケアが必要な方

に対して、

医師が**定期的に**診療にお伺いし、  
**計画的に**健康管理を行うものです。

定期訪問に加え、  
緊急時には**365日×24時間体制**で対応、  
必要に応じて緊急往診や入院先の手配などを行います。  
訪問診療は、俗にいう「**往診**」とは少し異なります。  
往診とは、具合が悪いときに医師が自宅に来て、診察をするものです。

一般的には、  
経管栄養の栄養管理\*  
気管切開\*  
在宅酸素療法\*  
人工呼吸器装着\*など  
医療器機を伴う治療が必要な方



そして癌をはじめとする悪性腫瘍の患者さんがご家族と共にご自宅で安心して生活できるように支えます。

日常の体調管理からターミナルケアまで自宅療養されている方の幅広いニーズに応えます。

【具体的なサービス内容】

- ・ 診察、血圧測定、体温測定などの健康チェック
- ・ 点滴、投薬などの治療
- ・ 採血、検尿などの検査
- ・ 療養上の相談、指導
- ・ 床ずれの処置
- ・ 酸素療法、経管栄養法など
- ・ 経尿道カテーテル、各種ストーマの管理、ケアなど



**【対象となる方】**

- 通院が困難な方
- 退院後にご自宅で療養されている方
- がん・末期・難病などでご家族と一緒に自宅療養したい方
- 在宅緩和ケアを希望されている方

**【在宅医療の良さ】**

① 自宅で診察・診療を受けられる

患者さんが心から安心することのできる自宅での診察・診療が可能です。事前に決めたスケジュール通り、定期的に医師が訪問しますので病院へ行く手間や、交通費が軽減されます。

② 待ち時間をリラックスして過ごせます  
通院ではどうしても長い待ち時間が発生してしまいます。  
また、体調が良くなく、横になりたいと思ってもなかなかそうはできない場合が多いですが、ご自宅ならリラックスして医師の訪問を待つことができます。

③ 各種、保険内での診療が可能  
基本的には病院での外来受診と同じで国民健康保険や社会保険、後期高齢者保険など各種保険診療の対象となります。  
月2回の訪問診療と24時間対応にかかる費用とで月額約6,000円前後の方が最も多い割合となっております。

#### ④ 24時間365日対応

病気や怪我はいつ何が起こるかわかりません。  
緊急時のサポート体制が整っています。万が一  
の際でもすぐに対応します。

## 2. 診療までの流れ

ご相談から診療開始まで  
ご家族の方が直接またはケアマネジャーやソー  
シャルワーカーを通してご相談ください。  
診療システムや内容、費用負担などにご同意い  
ただいたのち、初回訪問の日程をご相談の上、  
決定します。



### 3.在宅診療の費用のめやす

費用負担の概算を下記に示します。

標準負担額は月2回訪問および24時間緊急体制に対する1ヶ月あたりの負担金額です。

癌の患者さんなどで医療費が高額になる方では高齢者の場合、**限度額**が設けられています。

1割負担の方で18,000円（該当者 8000円）

3割負担の方で57,600円

**入院に比べると負担は低くなっています。**

対象	負担割合	標準負担額（個人宅）	負担額上限
高齢者	1割	約6,500円	18,000円
	3割	約19,000円	57,600円
一般（70歳未満）	3割	約19,000円	高額医療費による返還

#### 4. 訪問診療のご依頼

##### 入院中のとき

- 退院後の生活や介護が心配なとき
- 通院は少し難しいとき
- 引き続きいろいろな医療機器の使用が必要なとき
- なんとか家に帰りたい、帰したい
- 在宅ホスピスケア（疼痛緩和ケア）を希望されるとき

#### 4. 訪問診療のご依頼

##### 在宅療養中のとき

- 通院すること自体が難しくなってきたとき
- 徐々に体が弱ってきていて心配なとき
- 夜なにかあると困ってしまう



訪問診療の対象となる方

- ・ご本人およびご家族が、在宅療養と定期的な訪問診療を希望される方
- ・通院が困難な方
- ・訪問範囲内に住まわれている方
- ・費用についてご了承頂ける方

訪問診療（在宅医療）に関する

**よくあるご質問** 



訪問診療とはどのようなものですか？



医師が患者さんのご自宅へ定期的かつ計画的にお伺いし、診療、お薬の処方および健康管理を行います。



訪問診療はどのような人が利用できますか？



通院が困難な方、寝たきりの方、またはご自宅で療養中の方等、ご自身で通院できない方が訪問対象となります。



診察時に家族が同席することはできますか？



診療にご家族の同席が可能です。  
また、毎回、必ずしも必要ではありません。  
患者さんのお体の状態、検査結果など、ご不明な点がございましたら遠慮なくご質問ください。同席が難しい場合は、ご相談ください。



訪問日以外や休日・夜間に体の状態が急変した場合、どのような対応をして頂けますか？



患者さんの体調の変化に備え、  
**24時間連絡可能**な体制をとっております。  
まずはご案内している連絡先にお電話ください。今までの診察を元に医師の判断にて、往診、経過観察、救急搬送の指示など、適切な対応を行います。



入院が必要になった場合の対応はどのようなものですか？



患者さんの容態が変化し、入院が必要であると医師が判断した場合、症状により近隣の提携病院と連携をとります。

※受け入れ先の病院のベッドが満床の場合は、救急隊の判断にて搬送して頂きます。



緊急往診をお願いしたいのですが、初めて利用する場合も来て頂くことはできますか？



初めてのご依頼が緊急往診の場合、患者さんの詳しいお体の状態が把握できません。そのため、お受けできない場合もございますのでまずはご相談ください。



今まで使ってきた薬を継続して処方して頂くことはできますか？



もちろん可能です。  
患者さんのお体の状態に合わせてお薬を処方させていただきます。



薬を取りに行くことができない場合、自宅まで配達してもらうことはできますか？



当クリニックでは、お薬はすべて院外処方となっていますので、お近くの薬局で薬をお受け取りください。  
お薬の配達をご希望の方には、配達ができる薬局をご紹介しますのでご相談ください。



家族が施設に入居していますが、診察して頂くことはできますか？



高齢者施設への診療も行なっています。  
入居施設の担当者さんとの事前調整が必要になりますので、当クリニックへご相談ください。



今まで通っていた病院にもかかりながら、訪問診療を受けることはできますか？



もちろん可能です。  
自宅療養中で病院の専門外来へ数か月毎に通院されているような場合でも、病院の主治医と連携して訪問診療を行うことが可能です。必要に応じて情報提供等もいたします。



在宅での緩和ケアはどんなことができますか？



当クリニックでは、在宅での癌患者さんのケアや緩和ケアを積極的に行っております。最期まで自宅で過ごしたい患者さん、在宅での看取りを考えているご家族様、ぜひ一度ご相談ください。



家で最期を迎えることはできますか？



痛みや苦しみを和らげ、**ご自宅で穏やかな最期を迎えることができます。**

身体的苦痛や精神的苦痛を軽減し、QOL (Quality of Life) を向上させ、医療的処置 (緩和医療) に加え、精神的側面を重視した総合的なサポートをさせていただきます。癌末期などの痛みのコントロールが必要な場合も、貼り薬など使い易い医療用麻薬を使用し痛みを抑えることができます。



在宅を支えてくれるのは医師以外にどんな人がいますか？



歯科医師、看護師、薬剤師、理学療法士、**作業療法士**などの医療職だけでなく、ケアマネージャー、ヘルパー、介護福祉士、社会福祉士などの介護を専門としている方がいます。また、医療と介護だけでなく、その方に関わる全ての職種です。

## 在宅療養を支えてくれる多職種紹介

